

読

Yomiuri Nippon
Symphony
55th
Orchestra
55th Anniversary

響

妖怪や魔女が踊る、狂乱の音楽。
これは夢か、それとも幻想か?

小林研一郎

《幻想交響曲》



ロッシーニ：歌劇「セビリアの理髪師」序曲
Rossini : "The Barber of Seville" Overture

ビゼー：「アルルの女」第2組曲
Bizet : L'Arlésienne Suite No.2

ベルリオーズ：幻想交響曲 作品14
Berlioz : Symphonie fantastique, op. 14

読売日本交響楽団 第610回 名曲シリーズ
Popular Series, No. 610

2018 **3.20** 火 19:00開演

サントリーホール

Tuesday, 20th March, 2018 19:00 / Suntory Hall

S¥7,500 A¥6,500 B¥5,500 C¥4,000

読売日本交響楽団 第102回 みなとみらいホリデー名曲シリーズ
Yokohama Minato Mirai Holiday Popular Series, No. 102

2018 **3.21** 水・祝 14:00開演

横浜みなとみらいホール

Wednesday, 21st March, 2018 14:00 / Yokohama Minato Mirai Hall

S¥7,500 A¥6,500 B¥5,500 C¥4,000

※都合により曲目、出演者等が一部変更になる場合がございます。
※未就学児のご入場は、固くお断りいたします。

託児サービス 横浜みなとみらいホールでは「託児サービス」を提供しています。
(株)明日香045-316-5539

学生券：25歳以下の学生の方は、開演15分前に残席がある場合、
¥2,000で入場できます(要学生証)。ただし席を選ぶことはできません。
開演1時間前から受付で整理券を配布します。

熱い音楽づくりで、会場は熱狂の坩堝に！
「コバケン」の愛称で絶大な人気を誇る名匠
指揮=小林研一郎

(特別客演指揮者)

Conductor: Ken-ichiro Kobayashi

©読響

お申し込み・お問い合わせ ● 読響チケットセンター0570-00-4390 (10時~18時・年中無休)

読響チケットWEB <http://yomikyo.pia.jp/> *座席指定してチケットをご購入いただけます。

プレイガイド ● チケットぴあ 0570-02-9999、サントリーホールチケットセンター 0570-55-0017 (3/20)、横浜みなとみらいホールチケットセンター 045-682-2000 (3/21)

<http://yomikyo.or.jp/>

主催：読売新聞社、日本テレビ放送網、読売テレビ、読売日本交響楽団 協賛：NTTコミュニケーションズ(3/20) 助成：文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術創造活動活性化事業) 協力：横浜みなとみらいホール(3/21)

狂乱のクライマックスへ!

小林研一郎の《幻想交響曲》

“炎のマエストロ”小林研一郎(特別客演指揮者)は、77歳となった今も精力的に活動し、絶大な人気を誇っています。小林がタクトを振れば、圧倒的なエネルギーが放たれ、一音一音まで魂の行き届いた音楽が流れ出します。今回は小林が得意とする3つの有名曲を披露します。

冒頭を飾るのは、ロッシーニの歌劇「セビリアの理髪師」序曲。親しみやすいメロディが次々と現れ、徐々に熱を帯びて心躍る気分が満たされます。

続いて演奏するのは、ビゼーの「アルルの女」第2組曲。牧歌的な旋律で始まる「パストラル」に続き、「間奏曲」では荘厳な雰囲気に入れられ、「メヌエット」ではフルートの有名な旋律が優雅に舞います。最後の「ファランドール」では、太鼓のリズムに乗って音楽が盛り上がります。

メインは、ベルリオーズの代表作「幻想交響曲」。5つの楽章からなる大作で、「恋に破れて絶望した作曲家が、アヘンで服毒自殺を図るものの死にきれず、奇怪な幻想を見る」という筋立てがあることが特徴です。最終楽章「ワルプルギスの夜の夢」では、妖怪や魔女たちの宴が繰り広げられます。金管楽器が咆哮し、大太鼓や鐘などの多くの打楽器も響き、狂乱のクライマックスへと突き進みます。

名匠が生み出す熱い音楽を、たっぷりどうぞ堪能ください。

小林 研一郎(指揮)

Ken-ichiro Kobayashi, Conductor

“コバケン”の愛称で親しまれている世界的指揮者。2011年8月から、読響特別客演指揮者の任にある。東京芸術大学作曲科および指揮科を卒業。第1回ブダペスト国際指揮者コンクール第1位。欧州の一流楽団を多数指揮しており、02年の「ブラハの春」音楽祭では、東洋人で初めて開幕コンサートの指揮者に招かれ「わが祖国」全曲をチェコ・フィルと演奏した。ハンガリー国立響の音楽総監督やチェコ・フィル常任客演指揮者をはじめ、数多くの楽団のポジションを歴任。現在、日本フィル桂冠名誉指揮者、ハンガリー国立フィル、名古屋フィルの桂冠指揮者、九響の名誉客演指揮者、東京文化会館音楽監督、東京芸術大学、東京音楽大学、リスト音楽院の名誉教授など務める。13年秋の叙勲で旭日中綬章が授与された。オクタヴィア・レコードなどから多数のCDをリリース。読響とはブラームスの交響曲を全曲録音し、高い評価を得た。

©読響

ntt.com



**Transform your business,
transcend expectations
with our technologically
advanced solutions.**

想像を超えるスピードで進化するAIやビッグデータ、IoTの世界。今、求められているのは、
既成の枠組みや概念を取り払い、全てを変革する力。
私たちはその力を、スマートなICTソリューションで届けたい。
お客様の期待を超えて、
ビジネスの新しい未来をかなえるために。